

# SROLANH NEWS

カンボジアの障がいのある子どもたちの「生きる」を支援する。

発行：NPO 法人スロラニプロジェクト  
〒655-0049  
兵庫県神戸市垂水区狩口台 4 丁目 31-505  
TEL：090-9982-4032  
Email：srolanhproject@gmail.com

## チョムリアップスオ！～ごあいさつ～ NPO 法人スロラニプロジェクト代表 飯塚 由美子

皆様、お元気でお過ごしでしょうか？

コロナ禍もなかなか手ごわく、治まらない状況ではありますが、私たちスロラニプロジェクトのメンバーそして、現地スタッフ、スロラニ小学校の先生や生徒の皆さん、シェムリアップ孤児院センターの子ども達、そして障害のある村の子ども達も元気に生活しています。

新型コロナ感染症が始まってから1年半、我々メンバーはカンボジアに行くことが出来ていませんが、会員の皆様そしてご寄付くださった皆様、現地のパンナさん、ピッチさんのお蔭で定期的な支援の継続、そして三木みどりロータリークラブ様の井戸建設のご支援により、現地の村に14基の井戸を設置することが出来ました。井戸建設に関しては、井戸の使用によりきれいな水が確保できることが大きなプラスですが、建設の際、村の方たちが労力を提供してくれることで労働の対価を提供できます。コロナ禍により、シェムリアップ最大の観光業が稼働できず、ガイド業やホテル業やその他飲食業、お土産などのお店もほぼ稼働していません。村でも失業された方が多く、ほんの少しですが井戸建設時の労働の対価も、現地の方から喜ばれる一つです。コロナ禍でもスロラニプロジェクトはカンボジアの子ども達や、日本の支援者の皆様のご期待にお応えすることができています。本当にありがとうございます。カンボジアもワクチン接種が始まっているようです。

私たちメンバーとしましても、いつ現地に行けるのか、本当に心待ちにしていますが、まだまだ先が遠いように思います。私たちも、日本でできることをもう少し探りながら、皆様のご期待に添えるよう心掛けたいと思います。

## 障害のある子どもを育てるお母様にもワクチン接種が始まりました！

私たちスロラニプロジェクトは2020年2月を最後にカンボジアでの現地活動を行うことが出来ずにメンバー全員、フラストレーションがたまる毎日を過ごしています。

しかし、現地スタッフのパンナさんから支援する子ども達への食糧支援を継続的に行いながら近況を知らせる情報が定期的に送られてきます。

一時期、シェムリアップ州の町に住むパンナさんが村に行くことでコロナウイルスを広めてしまうかもしれないという思いと、実際、村の方からもパンナさんの訪問を良く思わない方もいたようで、苦しい胸の内を教えてくれることもありました。

しかし、カンボジアでもワクチン接種が開始されており、パンナさんは2回の接種を終了し、村に住む障害のある子どもを育てる保護者の皆様も随時、ワクチン接種が進み、以前に比べると少し落ち着いてきているようです。

早くコロナが収束し、以前のようにカンボジアにいける日が来ることを願いつつ、パンナさんと連携し、日本で出来る支援に努めて行きたいと思います。

※ちなみにカンボジアでは中国製のSinovac および Sinopharm ワクチンが接種されていて中国、ブラジル、インドネシア、チリなど、世界80か国以上で展開されています。



一回目のワクチン接種が終了したデザイン君のママ



一回目のワクチン接種が終了したリアサーちゃんママ



一回目のワクチン接種が終了したサット君のママ

## ワットボー小学校新校長が誕生！～キムチェン元校長は文科省アドバイザーに就任～

2016年7月のカンボジア支援活動からお世話になったワットボー小学校のキムチェン校長が2021年3月で定年退職されました。後任はキムチェン校長同様に私たちの障害児支援に興味関心のある副校長だったオン・コンレット氏が就任されています。そしてキムチェン校長は4月から文科省のアドバイザーに就任されたそうです。

キムチェン氏は校長就任当初400名の生徒が通うワットボー小学校を日本をはじめ様々な国の教育を取り入れ、6000人以上の子ども達が通うマンモス校に育て上げた教育者です。障害児教育にも関心があり、三木みどりロータリークラブ様のご協力のもと私たちが2017年に企画した日本の障害児者支援事業所及び障害児教育機関を視察するツアーに参加されています。意欲的に視察された以降、日本福祉協議機構様と協同で取り組んでいたワットボー小学校の教育支援及び特別支援教育導入にも非常に協力的で私たちの活動を見守っていただけていました。ワットボー小学校での教育支援が再会された際はオン校長やキムチェン氏と共に特別支援教育の実践に取り組んでいきたいと思えます。

現在、ワットボー小学校では日本の小学校と同じくアルコール消毒、手洗い、マスク着用の徹底と非接触型オート検温器を設置したり、オンライン授業を行ったりと子どもの命を守りながら継続した教育提供に努められています。



文科省アドバイザーに就任されたキムチェン氏



オン・コンレット新校長



ワットボー小学校の朝礼



感染予防対策①



感染予防対策②



オンライン授業①



日本福祉協議機構の濱野代表（右）



日本障害児者支援事業所等視察

## 三木みどりロータリークラブ様の設立30周年記念事業～カンボジアの村に井戸寄贈～

スロラニプロジェクトの活動をいつも応援してくださっている三木みどりロータリークラブ様がこの度、設立30周年記念事業としてカンボジア王国シェムリアップ州の村に14基の井戸を寄贈していただきました。

コロナ禍で思うような活動が出来ない中の井戸支援に私たちはもとより現地スタッフのパンナさんや現地協力者のピッチさんの喜びはひとしおでした。

日本以上にコロナの影響で観光業がメインのシェムリアップ州は大打撃を受けており、日本語ガイドのピッチさんにおいてはガイドの仕事が全くなく、現在は農業を手伝ったり、川で魚を取ったり、蛇やクモを食べる日もあるそうです。そのような状況のときに三木みどりロータリークラブ様の井戸寄贈は水不足対策もさることながら、井戸を作る人件費も含まれているので、生活支援にも繋がっています。

コロナ禍で誰もが普段の生活を送ることが困難になっていますが、支え合う精神はカンボジアや日本問わず、忘れずに持ち続けたいと思います。

三木みどりロータリークラブ様、温かいご支援、本当にありがとうございました。



井戸寄贈支援が神戸新聞に掲載されました